

福岡県米麦大豆生育情報

平成29年 2月14日
福岡県農林業総合試験場

麦の生育概況と対策

1. 本年の気象 [太宰府アメダス]

	1月19日～2月9日 (22日間)				
	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
	℃	℃	℃	hr	mm
本年	5.9	10.7	1.7	94	43
前年差(比)	+1.7	+2.7	+0.9	202%	63%
平年差(比)	+0.9	+1.5	+0.6	119%	101%

注) 平年は1981～2010年の太宰府アメダスの平均値。

2. 麦の生育 [小麦:11月18, 22日播種、大麦:11月25日播種]

1月19日～2月9日の平均気温は平年より0.9℃高く、日照時間は19%多く、降水量は平年並であった。

2月10日現在の麦類の生育は、農産部では草丈は平年より19～60%長く、主稈葉数は0.8～1.0葉多く、生育は進んでいる。茎数は小麦では平年並～8%少なく、大麦では11%多い。筑後分場ではシロガネコムギの草丈は平年より9%長い、ラー麦(ちくしW2号)とはるしづくでは11～13%短く、主稈葉数は平年並～0.5葉多く、生育はやや進んでいる。茎数は平年より18～33%少ない。11月下旬播種の節間伸長開始期(茎立期、節間長5mm)は、小麦で2月4～6半旬、大麦で2月5半旬～3月1半旬で平年並～早いと予想される。

3. 今後の対策

(1) 排水対策

ほ場の湿潤状態が続いており、一部で湿害が発生している。ほ場に水が溜まらないよう排水溝の溝さらえを行い、排水口を整備して地表水を排水する。土入れを兼ねて作溝し、排水対策を徹底する。

(2) 土入れ・踏圧

土壌が乾燥した時点で速やかに土入れ・踏圧を実施する。

踏圧は節間伸長開始期までに実施する。節間伸長開始期は11月下旬播種の場合、2月4半旬～3月1半旬と予想されるが、播種期や地域により差が大きいので、現地の状況をみて判断する。土入れは倒伏防止や雑草防除の効果が高いため、3月上旬までに2～3回実施する。

(3) 雑草防除

今後、ヤエムグラやカラスノエンドウ、タデ類などの広葉雑草の発生が予想される。雑草の草種や発生状況を観察し、茎葉処理除草剤を早めに処理する。除草剤は普通作雑草防除の手引きを参照し、最新の登録情報を確認して使用する。

(4) 追肥

1回目の追肥(分けつ肥)を施用していないほ場では、速やかに施用する。追肥後に土入れを行っていないほ場では、早急に土入れを実施して確実に覆土を行う。

2回目の追肥(穂肥)は、食料用大麦と裸麦は2月下旬、小麦は2月下旬～3月上旬に基準量を施用する。

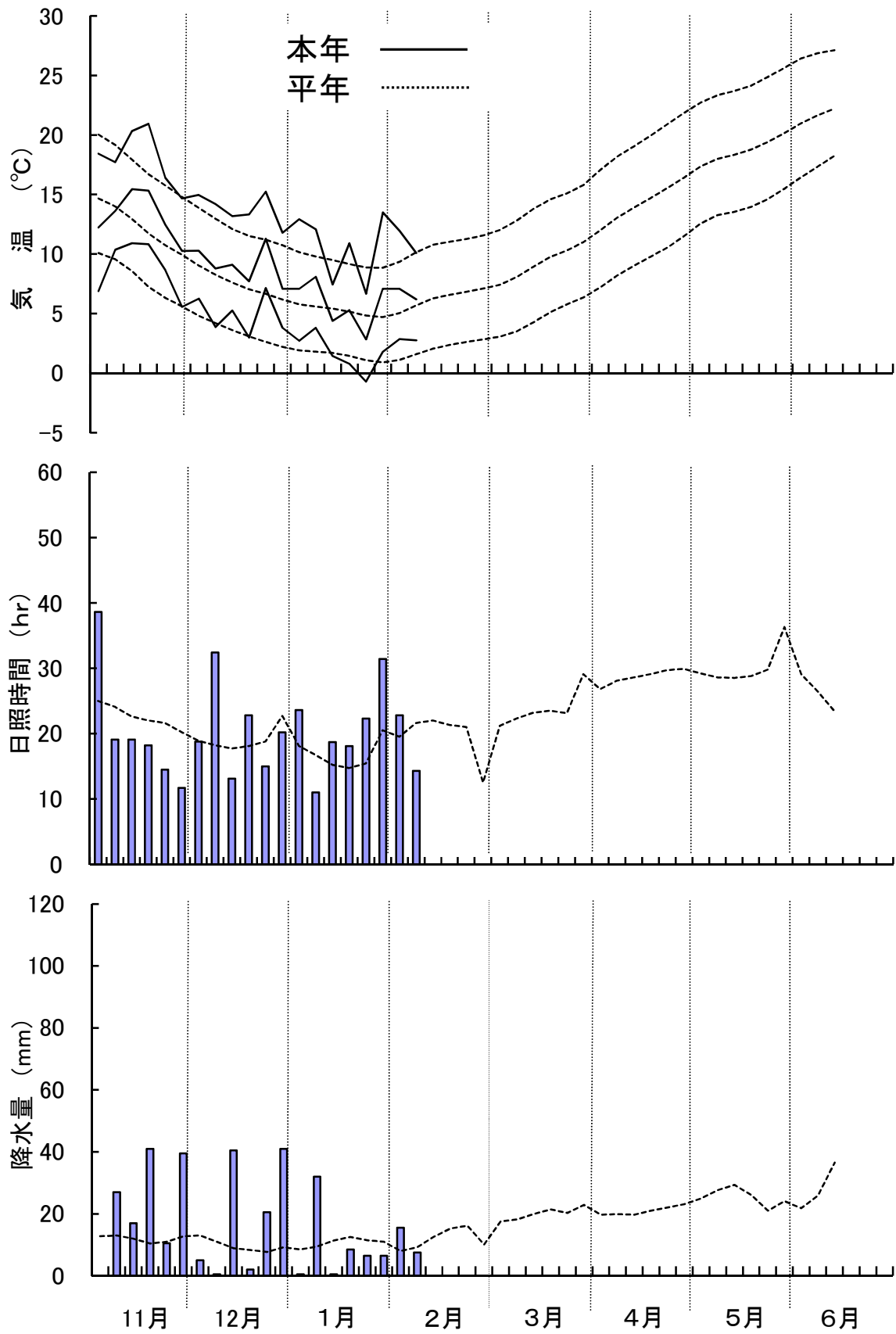
4. 農林業総合試験場における調査成績

調査場所	播種期 月.日	品種名	年次	出芽期 月.日	1月18日			2月10日			予想 茎立期 月.半旬
					草丈	茎数	葉数	草丈	茎数	葉数	
					cm	本/m ²	L	cm	本/m ²	L	
農産部	11.18	チコ ^イ イ ^ミ	本年	11.25	17.3	523	5.2	22.6	620	6.2	2.5
			前年比(差)	-2	93	96	+0.6	106	112	+0.6	(2.5)
			平年比(差)	-4	148	118	+1.2	157	96	+0.8	-
	11.18	ラー麦 (ちくしW2号)	本年	11.25	17.7	452	5.2	23.7	553	6.3	2.4
			前年比(差)	-2	90	94	+0.3	105	113	+0.5	(2.5)
			前7年比(差)	-4	147	106	+1.3	160	92	+1.0	-
11.25	ほうしゆん	本年	12.6	10.5	554	4.7	12.3	901	6.3	2.5	
		前年比(差)	+1	88	86	-0.1	90	116	+0.2	(2.6)	
		平年比(差)	±0	122	130	+0.9	119	111	+0.9	-	
筑後分場	11.22	シカ ^ネ ム ^ギ	本年	12.2	18.4	387	4.4	18.4	473	5.6	2.6
			前年比(差)	+2	119	74	-0.7	96	70	-0.7	(2.5)
			平年比(差)	+1	142	81	+0.1	109	67	±0	-
	11.22	ラー麦 (ちくしW2号)	本年	12.3	14.9	367	4.4	15.1	528	5.7	2.6
			前年比(差)	+3	73	68	-0.7	56	89	-0.4	(2.3)
			前8年比(差)	+2	110	87	+0.3	87	82	+0.2	-
11.25	はるしずく	本年	12.8	11.9	524	4.6	11.9	601	5.9	3.1	
		前年比(差)	±0	85	98	+0.2	69	64	-0.1	(3.1)	
		前9年比(差)	-1	109	131	+1.0	89	71	+0.5	-	

注1) 平年値はH18～H27年播の平均値。

2) 前年比(差)、平年比(差)：草丈および茎数は前年比および平年比、出芽期および葉数は前年差および平年差を示す。

3) この値は暫定値で、今後変更することがある。



冬作期間の気象 (太宰府アメダス：平成28年11月～平成29年6月)